

機器や社会の変革を起こすコア技術

# 有機エレクトロニクスの 次の方向性を考える

白色照明、太陽電池、半導体デバイスなどの応用展開に期待!

日経エレクトロニクスは、有機エレクトロニクス材料研究会 (JOEM) と協力し、「有機エレクトロニクス」をテーマとするシンポジウムを開催します。本シンポジウムは、JOEM創立30周年記念事業も兼ねています。

昨今、ウェアラブル端末やフレキシブル・ディスプレイ、3Dプリンターというキーワードに引きつけられる形で、**有機エレクトロニクスが脚光を再び浴びようとしています**。それは、機器を劇的に薄く、軽く、そして柔らかくするだけでなく、電子機器を簡便に製造できる可能性があるからに他なりません。有機エレクトロニクスを取り入れた機器が広まれば、社会が大きく変化するともいえます。

高まる期待に呼応するように、有機エレクトロニクスは今、大きな進化を遂げようとしています。当初期待された有機ELのディスプレイ応用への道程は、決して平坦なものではありませんでしたが、フレキシブル、プリンタブル (印刷可能) という有機材料ならではの長を活かし、白色照明、太陽電池、半導体デバイスなどの応用展開が、産官学連携で強力に進められています。また、新たな材料や発光メカニズムに関する基礎研究の進展により、半導体特性や発光効率など、材料特性の向上も急速に進んでいます。**有機エレクトロニクスは、正に「今、熱い」のです。**

本シンポジウムでは、有機エレクトロニクスの事業化や研究開発を進めている企業・大学に所属する意思決定者や研究者が一堂に会し、これまでの到達点と今後の展開について、講演とパネルディスカッションを通じて議論します。ウェアラブル端末やフレキシブル・ディスプレイ、3Dプリンターなど、**新たな視点での事業展開を狙う方々にとって、目の離せない内容です**。エレクトロニクス業界のみならず、医療/ヘルスケア業界、建設業界などエレクトロニクス技術で付加価値を生み出そうとする業界の将来像を描く上でも、本シンポジウムは有効です。

有機エレクトロニクスの次の方向性を、一緒になって考えませんか。ぜひ、本シンポジウムへご参加ください。

**満席になり次第、申込受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。**

## 開催概要

**日時** 2014年 7月10日 (木) ~11日 (金)  
10:00~18:00 (開場9:30) 予定  
※7月10日は、17:00より交流会を設けます。

**会場** UDX カンファレンス (東京・秋葉原)

**主催** 日経エレクトロニクス

**協力** 有機エレクトロニクス材料研究会

**受講料** ◆一般価格 : 75,000 円  
(税込み) ◆日経エレクトロニクス (NE) 読者価格 : 60,000 円  
◆JOEM 会員価格 : 52,500 円

※7/10 (木) の交流会参加 (17:00 ~ 18:30) には、会費 3,000 円を別途お支払いください。セミナーと合わせて、お申し込みいただけます。  
交流会の当日申込も承ります (お支払いは現金決済のみ)。

※一般価格には「日経エレクトロニクス Digital 版セット購読 (最新号 1 冊 + 1 年 26 冊)」が含まれます。

※JOEM会員価格でお申し込みの場合は、JOEM事務局へお問い合わせください。

※受講料には、昼食は含まれておりません。



## プログラム詳細

### ●1日目 7月10日(木)

#### 基調講演 1

#### 20世紀型工業から脱却し、新たな局面へ

信州大学 名誉教授・特任教授

谷口 彬雄 氏

野村総合研究所 上席コンサルタント

藤浪 啓 氏

#### 基調講演 2

#### 有機エレクトロニクスの事業化に向けて

#### ～DNPの戦略～

大日本印刷

事業開発センター長 研究開発センター長

研究開発・事業化推進本部長

三宅 徹 氏

#### 基調講演 3

#### 化学企業から見た、 有機エレクトロニクス事業の展開

三菱化学 RD 戦略室長

八島 英彦 氏

#### 〔基礎研究から事業化まで、 次の方向性を切り開く研究・開発現場〕

有機デバイスとフレキシブル医療 IT 応用

東京大学 大学院 工学系研究科 教授

染谷 隆夫 氏

分子設計による半導体ポリマーの高次構造制御

理化学研究所 創発分子機能研究グループ 上級研究員

尾坂 格 氏

高移動度有機半導体の物理・化学とデバイス応用

東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 教授

竹谷 純一 氏

液体および全固体色素増感太陽電池の最近の動向

～プリンタブル太陽電池としての動向

九州工業大学 大学院 生命体工学研究科 教授

早瀬 修二 氏

三菱化学の太陽電池の取り組み

三菱化学 OPV 事業推進室長

山岡 弘明 氏

#### 交流会

### ●2日目 7月11日(金)

#### 調整中

日経 BP 未来研究所 所長

仲森 智博

#### 〔頭脳集積地が狙う先： 九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究 センター(OPERA)の取り組みと今後の展開〕

FIRST プロジェクトの総括と今後の展開

九州大学 OPERA 教授

安達 千波矢 氏

TADF 材料技術の最先端

九州大学 OPERA 准教授

安田 琢磨 氏

有機 EL デバイス物性の最先端

九州大学 OPERA 助教

合志 憲一 氏

計算化学による有機半導体材料の設計

京都大学 化学研究所 教授

梶 弘典 氏

FIRST におけるイノベーションを可能とする

研究開発組織への取り組み

OPERA 最先端プロジェクト推進室 戦略企画

工藤 真弓 氏

#### 〔頭脳集積地が狙う先： 山形大学 有機エレクトロニクス研究センター の取り組みと今後の展開〕

白色有機 EL の現状と将来展望

山形大学 教授

城戸 淳二 氏

高効率リン光低分子有機 EL 材料とデバイス

山形大学 助教

笹部 久宏 氏

塗布型有機 EL 材料とデバイス

山形大学 准教授

夫 勇進 氏

有機トランジスタ駆動有機 EL デバイス

山形大学 教授

時任 静士 氏

#### パネルディスカッション

モデレータ：谷口 彬雄 氏 (信州大学)

パネリスト：安達 千波矢 氏 (九州大学)

城戸 淳二 氏 (山形大学)

仲森 智博 (日経 BP 未来研究所)

今井 拓司 (日経エレクトロニクス 編集長)

※講演時刻等、随時更新いたします。また、プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

満席になり次第、申込受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。



# 創立30周年 記念パーティの ご案内

有機エレ材研(JOEM)  
www.organic-electronics.or.jp/

常日頃から、一般社団法人  
有機エレクトロニクス材料研究会  
(JOEM) へのご協力有り難うございます。  
本会は、諸学協会から独立した非営利の自主的  
研究者組織として、1984年に設立されました。  
「有機エレクトロニクス」の名付け親として、この分  
野に少なからず寄与してまいりました。この度、  
日経BP/JOEM共同企画としての「有機エレクトロ  
ニクスの次の方向性を考える」と題するセミナー  
の開催に合わせ、「創立30周年記念パーティ」  
を実施する運びとなりました。  
みなさまのご参加を心よりお待ち  
いたしております。

《日時》  
2014年7月10日(木)  
午後5時~7時

(日経エレクトロニクス/  
JOEMセミナー 交流会同時開催)

《会場》  
UDXカンファレンス  
(秋葉原)  
<http://udx.jp/conference/access.html>

《申込先》

Web site :  
[http://www.organic-electronics.or.jp/guide/guide\\_new.htm](http://www.organic-electronics.or.jp/guide/guide_new.htm)  
のリンク先

FAX :  
0268-21-5413

郵送 :  
〒386-8567  
長野県上田市常田 3-15-1  
信州大学繊維学部内  
有機エレ材研事務局  
北村深雪 宛

《参加費》  
3,000円  
(費用は税込みです)

当日受付にて  
申し受けます。

※JOEM会員がセミナーと同時申し込みの場合は、必ずJOEMのHPよりお申し込み下さい。JOEM会員価格(セミナー52,500円)にてご参加頂けます。

《問合せ先》

(1) E-mail : [info-joem@organic-electronics.or.jp](mailto:info-joem@organic-electronics.or.jp)  
(2) TEL / FAX : 0268-21-5413

FAXまたは郵送でお申し込みの場合は、下記申込書を必要に応じコピーしてご利用下さい。

切り取り線

創立30周年記念パーティー

参加申込書

2014年 月 日

参加者氏名				会員番号	
所属					
住所	〒				
電話番号		E-mail			
その他連絡事項					